

この時期、パソコンを使う機会が増えると思います。  
だからこそ、最近注意したい事柄。それと、年賀状の季節です。

## ●パソコンが遠隔操作？

パソコンが遠隔操作される…なんとも気味の悪いことです。しかも知らない間に犯罪者にされてしまう。こんな恐ろしいことはありません。先日、脅迫メール等を送りつけた、として犯人と思われる人物が「威力業務妨害」で逮捕されました。その後の調査で間違いと判明するのですが、その際に犯人特定の決め手となったのが「IPアドレス」でした。

「IPアドレス」とはネット接続されているパソコンそれぞれに、付番されている固有の番号のことを言います。

その番号さえわかれば「どここの誰のパソコンが使用された」という判別ができるわけですが、今回のケースは、本人の知らないうちに遠隔操作され、パソコンが犯罪に利用されました。

## どのようにして操作されたのか？

原因は感染した「ウイルス」によるものでした。ウィルスプログラムにの指示により操作された模様です。

今回のウィルスは、ダウンロードしたフリーソフトに仕込まれていた、と報道されています。

## ●ネットバンキングも注意

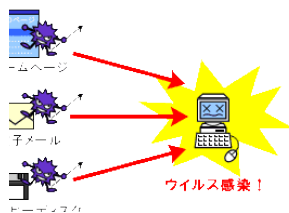
ネット上で取引できる便利なネットバンク。ID、パスワードが盗まれると、自分の口座が自由に操られてしまいます。

今回、ログイン時に偽の画面が現れ、それによりIDやパスワードが盗まれる、そんな被害が報告されました。実際に口座のお金を送金された被害もあったようです。

## 原因は？

やはりこれも「ウイルス」です。

いつもと違うような画面が表示されたり、振込などの手続きを行っていないのに、再度パスワードの入力を求められるなど、通常と異なることがあれば、要注意です。



## 防御の方法は？

最低限の対策としては「OS（基本ソフト）」のアップデートとウィルス対策ソフトの導入です。その他の対策は、身に覚えのないメールの添付ファイルを開かない、不用意にソフトをダウンロードしない、怪しいサイトにはいかない、などの普段の使用上の注意です。

## ●やってきました年賀状の季節

今年も年賀状の季節がやってきました。

この1日から年賀状の発売も始まっています。遅くとも12月中旬までには準備したいものです。

パソコンで作成するためには…何が必要でしょうか？

## 裏書き

謹賀新年、あけまして…など年賀状のデザイン面の作成です。はがき作成の専用ソフトがこの時期たくさん販売されています。それらを利用するのも良いでしょう。なるべくソフト購入など費用はかけたくない、ならワードを利用して作成しましょう。飾り文字や図形など思ったより多彩に使用できます。新たに年賀状ソフトを購入して使い方に四苦八苦するようなら、慣れているワードで作成した方が迷いがないかもしれません。

その場合でも行書体や草書体などの筆フォントは入手したいものです。フリーで利用できるフォントもあります。



郵便局からサンプル

写真を使うなら、写真が補正できるソフトがあれば重宝します。色調の調整やフラッシュ撮影で生じた「赤目」の修正などは、専用のソフトを使用しましょう。もちろんフリーで。来年の干支は「巳年」です。蛇のイラストもネット上から探してみましょう。フリーで利用できる画像がたくさん見つかるはずですよ。

## 表書き

宛名書き。こちらもワードでできる機能がありますが、きれいに印刷するには少しテクニックが必要です。市販やフリーのはがき作成ソフトでの作業が簡単かもしれません。

例年パソコンで印刷しているのなら、住所録の修正や追加で手間は済みますが、今年初めて…という方なら何より住所録の作成に労力が必要ですよ。この作業はどうやろうと人数分の手間がかかります。早めに始めましょう。

今年の年賀状は是非パソコンできれいに作りたい。作成のコツは、

妥協しないことですよ。

See you next Month